

ふるさと会交流及び姉妹都市親善訪問レポート

昨年10月19日～21日、酒谷副議長を団長に外議員3名と町長で上京し「第20回東京おびら会」及び「第46回小平市民まつり」に参加しました。19日上野で行われた東京おびら会親睦会には、当町出身の会員16名が参加されており、昔話や現在の小平町の状況を中心に懇親が図られ、再会を願いつつ会場を後にしました。翌20日には、晴天の下、20万人都市の華やかな市民まつりパレードに参加し市民皆様と交流し、夕刻に小林市長も出席された懇親会では、両市町の今後の新たな交流についても懇談がなされ、姉妹都市締結の意義が再確認されました。また、議会訪問団とは別に町・経済団体で構成する物産班も参加し、ホタテ・米等の物販を通じ多くの市民皆様に小平の味覚をお届けすることができました。



総務 産業 常任委員会 所管事務調査

昨年10月29日から31日までの3日間、総務産業常任委員会の所管事務調査で「ブルーカーボンの取組」と「部活動の地域移行」等について、道内3町を視察しましたのでその様子を報告します。

○ブルーカーボンの取組について 寿都郡寿都町

平成19年より施肥事業に取り組み、平成25年施肥製造プレス開発・導入により堆肥分解性ブロックを生産し、前浜に4千個投入している。

堆肥製造施設は、海岸部にあり製造された堆肥ブロックを容易に搬出できる。

○委員会所感

今回の視察は、ホタテ貝殻の処理に端を発し、堆肥の有効利用の観点から実施したが、新星マリン漁協も独自に視察しており、来春試験的に小平

町の堆肥を持込み、プレスした後、海に投入する予定である。

当町の基幹産業である漁業を衰退させないためにも、行政・産業団体が連携し事業を展開する必要性を強く感じた。

①児童生徒の文化活動及びスポーツ活動への助成について

②部活動の地域移行について

③議会中継について 白老郡白老町

①町立小中学校の児童・生徒が全道・全国大会に出場する際の派遣費等の一部を助成して、子供達の夢や可能性を育む取組を行っている。



②町の取組をイメージした「白老町中学校部活動地域移行推進計画」を教育委員会が令和6年2月に策定した。

③平成14年12月からインターネットを活用した議会中継の導入を検討し、平成15年5月臨時会から試験配信を開始し、平成15年12月定例会から本格実施した。

○委員会所感

①②少子化により子供の人数が減少しているばかりではなく、近年スポーツ活動を行う子供たちが減少傾向にあることが、人口に関わらず起きてい

る現状を認識した。このため、団体スポーツは一定の範囲でのチーム編成ができず、広域化により益々その機会が失われつつある。また、保護者の費用負担や送迎の時間確保等、新たな課題が発生しており、団体スポーツを行うことが難しくなる。健全な心身を育むためスポーツの果たす役割が重要と考えることから、新たな支援策の必要性を感じた。

また、各スポーツの指導者確保は大きな町でも課題となっており、まして当町のような小さな町ではより一層課題となっている。町の未来を託す子供たちの学びの機会を確保するための十分な議論が必要だ。

③開かれた行政運営及び議会活動の一端を情報発信できるため実施に向け、細部の協議を重ねる必要を感じた。更に、議員の成り手不足解消の一助ともなることも感じた。